



市長モリテツの
ほっとトーク

April 2021

三田の学び舎をめぐる三つの課題

— 10年後の教育環境を考える —

三田市長 森 哲男

多くの市民が待ち望んだ「今年の春」は、コロナ禍が続く中、「我慢の春」になりそうです。

しかしながら、昨年とは異なり、市民の皆さんのご理解のもと、一人一人が感染症対策を心がけることで、卒業式や入学式など人生の節目となる大切な行事が無事に行われてきています。来年こそは、多くの在校生や家族も参加する中、想い出がいっぱいある「学び舎」での卒業式などを、コロナ禍を乗り越えてきた喜びとともに迎えられることを願っています。

さて、三田市の教育は、各学校・幼稚園の職員の皆さんによる熱心な教育活動はもとより、地域の方々の支援などにより、市内外から高い評価を受けてきました。しかしながら今、10年後の三田の教育環境を考える上で、直面する三つの重要な課題があると思っています。

一つ目は、遅れている学校の施設の整備です。例えば、空調設備の設置は神戸・阪神間の中で最も遅れていましたが、先のこども医療費の見直しなどにより得た財源を費用の一部に充てることで、ようやく全ての市立小・中学校、幼稚園

に完備できました。次は、同じく最も遅れているトイレの洋式化です。財源確保も含めて、早急に検討していきたいと考えています。

二つ目は、小・中学校の大規模改修の進め方です。昭和50年代後半から平成初期にかけての北摂三田ニュータウン開発に伴い、集中して学校を建設しました。結果、大規模改修の時期も一斉にやってきます。改修経費が増加すると、市債（市の借金）も急増します。「未来への投資」として未来の市民（今の子ども）が負担するものやむを得ない面もありますが、できるだけ負担を緩やかにするため、借入する時期や金額と返済する時期や金額などを均等にしていく必要があります。

三つ目は、学校・幼稚園の再編・統合です。再編・統合については、市民の間に様々な考え方がありますが、子どもたちの成長にとって大切な集団教育を守るとともに、大規模改修を効率的に行う上でも一定の効果があると思われまます。これら三つの重要課題について、保護者をはじめ多くの市民と考えていきたいと思っています。

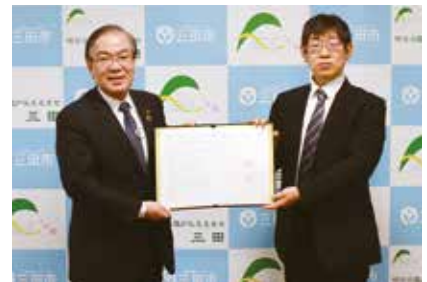
Mayor's Photo Diary



2月22日 スポーツや音楽の全国大会などで、すばらしい成績を収めた市内在住の4名が表敬訪問



3月1日 さんだ夢大使 新宮 晋氏が自作絵本を寄贈。市役所2階のキッズスペースに設置



2月24日 高度な法務能力を備えた人材育成を目指し、関西学院大学法科大学院と相互連携協定を締結